



11/20 日

11:00 ~ 15:00

和白白干潟・海の広場 (福岡市東区和白4丁目)

参加無料 小雨決行、雨天中止



初秋の風

♡ マリンワールドの
お魚水そうもあるよ!

どんな水鳥がいるかな?

干潟の生きものと遊ぼう!



新型コロナウイルス感染防止対策をとって開催します!

くわしくは2Pを見てね!

第34回
♡ 秋の和白白干潟を楽しもう!
ラムサール条約登録をめざして!
和白白干潟まつり

第34回 和白干潟まつり

11月20日(日)



11:00~15:00 参加無料

どんな水鳥がいるかな

♡ マリンワールドの

お魚水そう展示もあるよ♡

会場 和白干潟・海の広場

(東区和白4丁目海岸) 駐車場なし

小雨決行・雨天中止

主催/ 和白干潟まつり 実行委員会

[構成団体] 和白干潟を守る会、

グリーンコープ生協ふくおか福岡東支部

協賛団体/ 日本野鳥の会福岡支部、博多湾会議

お問い合わせ
お申込み

松尾・090-9651-8489

カンパなどのお願い



第34回和白干潟まつりを成功させるために、
皆様のご協力をお願いいたします!!

1. カンパは干潟まつりの運営資金や保険料などにあてます。
2. 他の会の機関誌にも干潟まつりの案内を掲載したり、チラシの配布にもご協力下さい!

カンパの送り先: 和白干潟を守る会
郵便振替01720-4-23860

ラムサール条約登録をめざして

今年もラムサール宣言を出します!
福岡市長のメッセージが届きます!

プログラム

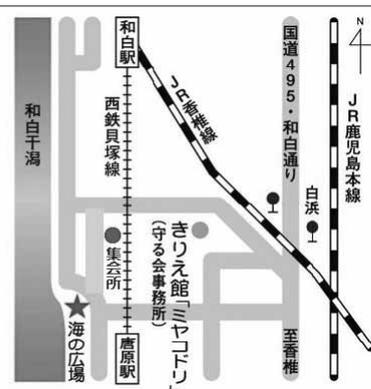
| | |
|-----------------|-------------|
| 開会式・ラムサール宣言 | 11:00~11:20 |
| バードウォッチング | 11:20~12:00 |
| 自然あそび | 12:00~12:35 |
| 植物観察 | 12:40~13:15 |
| 干潟の生物観察 | 13:20~14:00 |
| ステージ(紙芝居ほか) | 12:30~14:00 |
| 一言アピール | 14:00~14:15 |
| 心を合わせて | 14:15~14:25 |
| 干潟の掃除 | 14:30~14:50 |
| お魚水そう展示 | 11:20~14:50 |
| 写真展・パネル展 | 11:20~14:50 |
| 模擬店(コロナ禍にて飲食なし) | 11:30~14:50 |
| 閉会式 | 14:50~15:00 |

干潟まつり ボランティア募集!!

前日11/19(土)14時~ 会場整備
当日11/20(日)9時~ テント設営、
運営手伝いなど

交通

- 西鉄貝塚線
唐原駅より
徒歩5分
- 西鉄・JR和白駅
より徒歩10分
- 西鉄バス
白浜バス停より
徒歩5分



バザーでは飲食物がありませんので、各自ご用意ください。
参加される皆さん、長靴・敷物・水筒を持って来てね!

新型コロナウイルス感染防止対策については、自宅での検温、会場での手指の消毒、マスクの適切な着用をお願いします。

和白干潟の観察会のようす

(松田 元)

7月9日(土) 第12回「和白干潟のいきものやハマボウを見る会」

(和白干潟保全のつどい主催)



昨年同様、コロナ禍での開催となりましたが、屋外での家族連れでの自然観察会に期待が大きく、申し込み者が多かったです。今年は梅雨明け宣言が早く日差しも強い中、多くの子供たちが集まりにぎやかに始まりました。守る会の山本代表がハマボウを見る会の歴史について話しました。干潟では講師の藤井さんからコメツキガニやマメコブシガニなど、干潟の生きものを見せながら詳しい話があり、子供たちは大喜びでした。他にも、ハクセンシオマネキやアシハラガニなどを見ることが出来ました。牧の鼻海岸はハマボウの群落で覆われており、満開のハマボウをバックに全員で記念撮影、ゴミを拾いながら帰りました。参加者からは色んな生きものが見られて楽しかったとのことで、コロナ禍で外出の機会が少ない中で「ハマボウを見る会」は大変好評でした。(山之内)

昨年同様、コロナ禍での開催となりましたが、屋外での家族連れでの自然観察会に期待が大きく、申し込み者が多かったです。今年は梅雨明け宣言が早く日差しも強い中、多くの子供たちが集まりにぎやかに始まりました。守る会の山本代表がハマボウを見る会の歴史について話しました。干潟では講師の藤井さんからコメツキガニやマメコブシガニなど、干潟の生きものを見せながら詳しい話があり、子供たちは大喜びでした。他にも、ハクセンシオマネキやアシハラガニなどを見ることが出来ました。牧の鼻海岸はハマボウの群落で覆われており、満開のハマボウをバックに全員で記念撮影、ゴミを拾いながら帰りました。参加者からは色んな生きものが見られて楽しかったとのことで、コロナ禍で外出の機会が少ない中で「ハマボウを見る会」は大変好評でした。(山之内)

8月8日(月) 日本自然保護協会4名の和白干潟案内

日本自然保護協会の「砂浜ノート」を送って頂いたことがきっかけで、和白干潟を案内することになりました。日本自然保護協会では「砂浜ムーブメント」を進めています。これは、砂浜ノートの配布、砂浜の生きもの調べ、砂浜や町中でのゴミ拾いの3つがテーマです。日本自然保護協会の皆さんは、これを企業などで取り組んでもらうための説明に来られたそうです。



和白干潟は干潟本来の自然が残る日本でも数少ない干潟であることを紹介し、ハママツナやハマサジ、イソハウキギ、ハマニンクなどの塩生湿地植物や砂浜植物を観察しました。砂洲の付近ではハマゴウが美しく咲いていました。干潟の中に入り沖まで歩きました。ピンク色のユウシオガイが気に入り、たくさん拾ってありました。日本自然保護協会の方々には植物や生きものに関心が高いようで、和白干潟の自然海岸が気に入ってくださったようです。(山本)

9月24日(土) 国際ビーチクリーンアップ・ゴミデータ調査



ゴミ分別調査のようす

国際ビーチクリーンアップは、世界的規模で一斉にゴミ調査をする催しです。9月24日のクリーン作戦では、26名が参加し57袋のゴミを回収しました。海岸の人工ゴミを1時間拾い集め、その後人工ゴミを分類調査する班と自然ゴミを回収する班にわかれしました。人工ゴミは35種類に分類し集計しました。特に多かったのは、今、社会で問題となっているプラスチックゴミの「食品の包装・袋」で、その次に多かったのは「ペットボトル」でした。調査には九州産業大学宗像ゼミや明治・安田生命の方々の協力がありました。(山之内)

和白干潟を守る会へのご支援ありがとうございます！

9/7「和白東レインボークラブ連合会」様よりご寄付をいただきました。

ご支援に感謝申し上げます！

和白干潟の 秋 の自然だより

(山本 廣子)

秋の植物

秋の和白干潟沿岸では、アシが穂をつけてウラギクが薄紫色の花を咲かせ、ハマツナが赤く紅葉します。木の実が色づいてさわやかな秋を演出します。



アシの穂



ウラギクの花



ハマツナの紅葉



シャリンバイの実



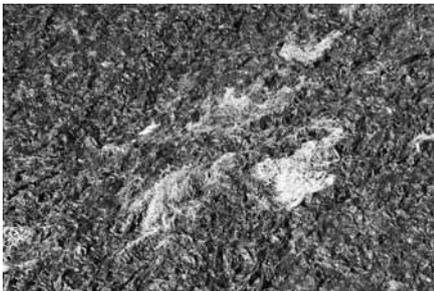
クコの実



アキグミの実

秋の干潟

例年の和白海域ではアオサが異常繁殖して環境を圧迫しますが、今夏の猛暑でアオサの繁殖が少なく、9月末現在アオサが少ない状態です。アオサが増えるとホトトギスガイはアオサのそばで数を増やし、小さなハマトビムシ（体長10mmくらい）が飛び跳ねます。



アオサ



ホトトギスガイ



ハマトビムシ

秋の鳥たち

和白干潟に秋の渡り鳥が立ち寄った後は、留鳥のミサゴやトビやハヤブサが見られます。サギ類やイソシギもいます。冬鳥も渡ってきてにぎやかになります。



イソシギ



ミサゴ



ハヤブサ

シギ・チドリ類にもプラスチック汚染が！

「シギ・チドリ類もプラスチックを摂取している」という論文では、海洋ごみは914種の海洋生物に絡まったり、摂取されたと報告されています。シギ・チドリ類の調査では対象の54%が汚染されていたそうです。海岸や干潟のゴミが集まるところで採餌するので、たくさんのプラスチックを食べているようです。その中でもミヤコドリ類が最も多く摂取していたそうで、驚きです。和白天潟に飛来する鳥が健全な餌を食べて元気に渡っていけるよう、美しい干潟にしておきたいですね。



ミヤコドリ、早くも飛来！

「8/30の11:20頃、雁ノ巣干潟の砂嘴にミヤコドリ2羽を見ました。」と守る会会員の秋山さんから連絡がありました。9/2には3羽がいたそうです。今秋の飛来はいつもより早めです。9/20には観察会の打ち合わせの時に、海の広場から9名で3羽のミヤコドリを見ました。そばにオシドリ8羽もいました。これから冬鳥が訪れて来て、和白天潟は賑やかになり楽しみです。

本の紹介

鹿児島大学名誉教授の佐藤正典さんから2冊の本をいただきました。佐藤さんは「ゴカイ」の専門家です。諫早湾の埋め立て問題に深く関わっており、2000年には和白天潟の自然観察ガイド講習会の講師をしていただきました。

「ハチの干潟の生きものたち」

—広島県竹原市に残る瀬戸内海の内原風景

佐藤先生はこの本の編集をされています。ハチの干潟は賀茂川が竹原湾に運んだ砂が堆積してできていて、アクセスの悪さから手つかずの自然が残るところです。干潟の説明や問題点など、和白天潟を考えるうえでも役立つ内容です。後半は干潟の生きもの図鑑になっていてカラー写真も美しく、干潟観察に便利です。ハチの干潟のそばに火力発電所を作る計画があり、ハチの干潟の重要性を示す本になってほしいという願いが込められています。Amazonから販売中（税込み2,970円）「ハチの干潟の生きものたち」で注文できます。



「琉球列島の河川に生息するゴカイ類」

「ゴカイ」を通して人間がいかに自然環境を破壊して、生きものの生息域を奪っているかが考えさせられます。沖縄では辺野古の埋め立てが進行中ですね。生殖時期に体の形態が変わることや、これを食糧とする国があることも興味深かったです。こちらは本屋さんで買えます。北斗書房（本体900円）+税



「砂浜ノート」

日本自然保護協会から、砂浜ノートを一冊いただきました。見るとなかなか素敵な本なので、これを使って和白天潟の砂浜を見て歩くようなイベントができないかと考え、また観察会やクリーン作戦などで配ってよいということなので、200冊無料でいただきました。折々に配りますので皆さんもこれを使って和白天潟を楽しんでいただけたらと思います。



気が付いたらあなたも電話してください！

▼海辺のゴミやアオサを取ってほしい時・自分でゴミを拾った時
092-282-7146（港湾空港局・維持課）

▼沖のアオサを取ってほしい時
092-282-7154（港湾空港局・みなと環境政策課）

弱った野鳥を見つけた時→092-513-5611

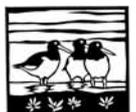
092-643-3367

福岡県筑紫保健福祉環境事務所 地域環境課

福岡県環境部 自然環境課 野生生物係

＊＊ お 願 い ＊＊

- 干潟でのゴルフやラジコンの練習、ドローンの使用はやめましょう！とても危険です。
- 干潟や堤防でゴミを燃やすのはやめましょう！（ダイオキシン発生防止、ゴミの野焼き禁止）
- 犬のフンの始末は飼い主がしましょう！



2022年6月

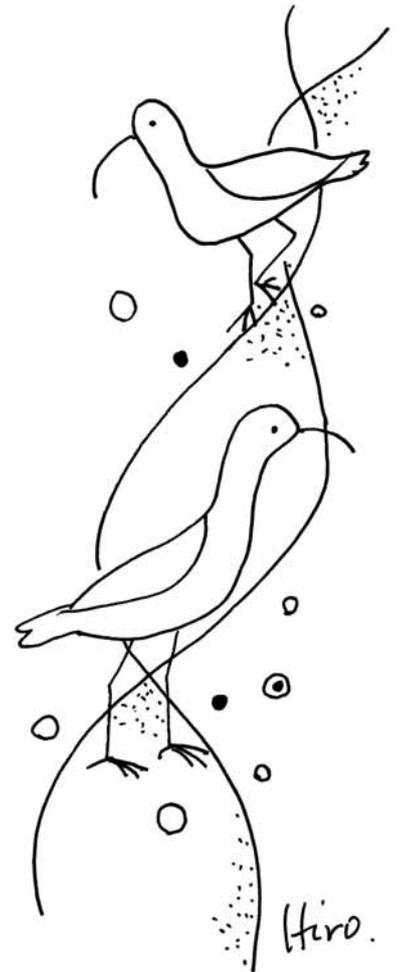
- 6/7 (火) 春期シギ・チドリ調査報告書作成
- 6/8 (水) 和白小学校4年生の和白干潟観察会
- 6/9 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 6/12 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会 福岡支部)
- 6/18 (土) 和白干潟通信142号編集会議
- 6/25 (土) 定例会議・ラブアースクリーンアップ2022参加の
和白干潟クリーン作戦と自然観察

2022年7月

- 7/9 (土) 和白干潟の生きものやハマボウを見る会
(和白干潟保全のつどい)
- 7/9 (土) 「山・川・海の流域会議」参加
- 7/10 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会 福岡支部)
- 7/12 (火) 干潟通信142号発送会
- 7/14 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 7/23 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 7/26 (火) 第32回イオン環境活動助成申請

2022年8月

- 8/4 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 8/7 (日) 2022年度 秋期シギ・チドリ調査1回目(今津)
- 8/8 (月) 日本自然保護協会4名の和白干潟案内
- 8/9 (火) 2022年度 秋期シギ・チドリ調査1回目(博多湾東部)
- 8/14 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会 福岡支部)・・・関係者のみで観察
- 8/23 (火) 第34回和白干潟まつり第1回実行委員会
- 8/27 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察



干潟のつぶやき 「和白干潟のアサリ復活か?」

和白干潟では、漁業権が設定されていないため、誰でもアサリを捕ることができます。そのため、アサリ業者による乱獲で大きなアサリが少なくなり、近年は1cmほどの小さなアサリも少なくなりました。

そんな中、昨年8月に福岡県水産海洋技術センターによる和白干潟でのアサリの増殖実験が始まりました。和白干潟で自然に生まれたアサリの稚貝を網袋の中で親貝にまで育て、親貝が産卵した稚貝が和白干潟や博多湾に広がって行くような取り組みです。

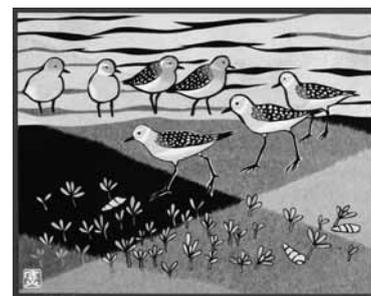
1年たった今年の8月、アサリの増殖実験の結果はどうだったのでしょうか。昨年設置した6mmのアサリの種苗は20mm程度に成長し、80パーセントほどが生き残っていたとのこと。結果は良いようで、今年も新たに増殖するとのこと、和白干潟にとって明るい知らせです。実験がうまく行き、「和白干潟のアサリ復活」となればいいですね。(山之内)



アサリ

和白干潟と私 7 (きりえ)

1982年頃から、私は和白干潟のすばらしさをきりえ作品にしていこうと制作を始めました。作品は「福岡きりえ展」で発表するだけではなく、天神の無料ギャラリーで個展をしました。その後も香椎や唐原で個展を続けてきました。また和白干潟を広めるにはきりえ作品を絵はがきにして買ってもらい、皆さんに広めてもらうのいいと思い、絵はがき集を作成しました。現在では絵はがき集は13集になります。



きりえ「春のひざしをあびて」

和白干潟が残ることになり、新たに和白干潟沖を埋め立てる401haの人工島問題が起こり、環境保護か開発かが福岡市のテーマとも言われており、私のきりえも取材されて、新聞やテレビでも紹介されました。西日本新聞では家庭欄で「和白干潟」のきりえとエッセイを7年7ヶ月に渡って連載していただきました。きりえの絵本「コメツキガニのたび(ひがたのなかまたち)」と「ひがただいすき!」も出版しました。画集も「和白干潟」をテーマに2冊出版しました。

きりえと出会って表現手段がある私は、とても幸せだと思っています。きりえの下絵が決まって、黒和紙をカッターで切ると心が落ち着きます。切りあがって色和紙で色付けをするのも楽しいです。八女の白和紙を自分の思う色合いに染めて色和紙を作っています。きりえ作品が多くなり、20年ほど前にアトリエを建てて、2階のギャラリーにきりえを保管できるようになり、一息です。子どもたちも大きくなり独立しましたが、「お母さん、きりえの寄贈先を決めといてね」と子どもたちに言われています。(山本 廣子)

和白干潟の水質・砂質調査結果

表は2022年4月から2022年9月までの水質調査と砂質調査結果です。水質調査についてはリン・亜硝酸とも色見本の最低ランク付近であり、また、CODも「4」以下の月が3回あり水質は少し良い状態です。透視度は5月、6月、8月が悪く全体的にはやや悪い状態です。砂質調査については、表層酸化層の厚さが沖合い150メートル地点よりも浜辺から10メートル地点の方が薄く、浜辺側が汚れています。

水質調査結果 (2022年4月~2022年9月)

| 測定項目 | 単位 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---------------------------|------|-------|------|------|------|-------|-------|
| リン酸イオン (PO ₄) | mg/l | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.03 | 0.02 | 0.02 |
| 化学的酸素要求量 (COD) | mg/l | 5 | 5 | 5 | 3 | 4 | 4 |
| 亜硝酸 (NO ₂) | mg/l | 0.005 | 0.02 | 0.02 | 0.01 | 0.005 | 0.005 |
| 透視度 | cm | 65 | 30 | 15 | 100 | 50 | 55 |

砂質調査結果 (2022年4月~2022年9月)

| 測定項目 | 単位 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 10m地点 表層酸化層の厚さ | mm | 12 | 8 | 8 | 18 | 2 | 4 |
| 還元層の黒色度 | — | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| 150m地点 表層酸化層の厚さ | mm | 18 | 13 | 18 | 24 | 17 | 13 |
| 還元層の黒色度 | — | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 |

唐原川・和白川の水質調査結果

唐原川 水質調査結果 (2022年4月~2022年9月)

| 測定項目 | 単位 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---------------------------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| リン酸イオン (PO ₄) | mg/l | 0.05 | 0.1 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.02 |
| 化学的酸素要求量 (COD) | mg/l | 5 | 10 | 10 | 8 | 10 | 9 |
| 亜硝酸 (NO ₂) | mg/l | 0.005 | 0.005 | 0.005 | 0.005 | 0.01 | 0.005 |

和白川 水質調査結果 (2022年4月~2022年9月)

| 測定項目 | 単位 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---------------------------|------|-------|------|------|-------|-------|-------|
| リン酸イオン (PO ₄) | mg/l | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 |
| 化学的酸素要求量 (COD) | mg/l | 5 | 6 | 7 | 6 | 8 | 6 |
| 亜硝酸 (NO ₂) | mg/l | 0.005 | 0.01 | 0.01 | 0.005 | 0.005 | 0.005 |

守る会問い合わせ窓口

ホームページ: <http://wajirohigata.sakura.ne.jp/>

入会 / 観察会 (申込等) 山之内 芳晴 Tel. 090-8412-2663
 クリーン作戦 田辺 スミ子 Tel. 090-1346-0460
 広報 / 調査 / 定例会議 山本 廣子 Tel/Fax. 092-606-0012
 干潟まつり 松尾 満子 Tel. 090-9651-8489



お知らせコーナー

★バードウォッチング in 和白干潟2022 ★

- 日時：12月3日（土）10:00～12:00
- 集合：和白干潟（海の広場）東区和白4丁目海岸
- 主催：和白干潟保全のつどい
- 申し込み：不要（中止の場合もあります）
- 問い合わせ：TEL 090-8412-2663（山之内）

★和白干潟エコチャレンジ★

～アオサのお掃除大作戦～

- 日時：11月5日（土）13:00～15:00
- 集合：和白干潟（海の広場）東区和白4丁目海岸
- 主催：和白干潟保全のつどい
- 問い合わせ：TEL 090-8412-2663（山之内）



定例スケジュール

●定例会議（10/22, 11/26, 12/17）

毎月第4土曜日12時～14時 守る会事務所にて開催。

※12月は第3土曜日。

以下は参加自由です！仲間が待っています！



★会員募集中！

年会費 個人 2,000円
団体 5,000円

★カンパの協力お願い

郵便振替 01720-4-23860
和白干潟を守る会

●クリーン作戦と自然観察（10/22, 11/26, 12/17）

毎月第4土曜日15時～17時 和白干潟・海の広場集合

※長靴があると便利。駐車場なし。12月は第3土曜日

●和白海岸探鳥会（11/13, 12/11, 1/8）

毎月第2日曜日9時～12時 JR和白駅前の和白公園集合

主催：日本野鳥の会福岡支部

参加費：一般は300円、中学生以下は無料 野鳥の会会員は100円

★ボランティアへのお誘い★

和白干潟を守る会のボランティア活動に参加しませんか？

和白干潟の清掃、鳥類調査のお手伝い（車の運転や記録）、観察会のお手伝い（写真撮影）などです。

和白干潟の鳥たち（その99）

ヒクイナ（ツル目 クイナ科 / Ruddy Crane） 緋水鶏 【全長：23cm】

準絶滅危惧（環境省）・準絶滅危惧（福岡県）



写真撮影：三宅 僚

ヒクイナは東北地方以北では夏鳥で、それより南では留鳥または漂鳥（国内を季節移動する）とされています。警戒心が強く、アシ原や草地の隙間からあたりを伺うようにしながら出てきます。和白干潟では観察例が少なく、何年かおきの冬に唐原川河口右岸のアシ原で1羽が観察されています。私も20年ほど前のお正月に1羽を観察しました。赤くてきれいな鳥です。体は赤茶っぽくて足は赤色です。今年8月14日の探鳥会で、五丁川河口のカネンテで観察しました。久しぶりでとても新鮮でした。この五丁川河口のカネンテは、人が入れずに安心なのか、最近はササゴイやゴイサギなども多く見られます。ゴミが多いのが難点ですけどね。（山本 廣子）

【編集】山本 廣子・山之内 芳晴・田辺 スミ子・松田 元・今林 眞由美・松藤 真理奈

〈カット〉くすだ ひろこ

★次号は2023年1月に発行予定★

【編集後記】和白干潟に行くと、素晴らしい自然の美しさと生物の命に溢れ、感動します。海と空が川や干潟で繋がるように、世界も生命の繋がりがあいで平和になりますように。干潟からたくさんの事を教えられています。（松藤）